

社協 おうたき

第

55

号

平成26年 7月 1日発行

社会福祉法人
王滝村社会福祉協議会

〒397-0201

長野県木曾郡王滝村 2830-1

TEL 0264 (48)2008

FAX 0264(48)3033



平成25年度事業報告・・・2～4p

平成25年度収支決算・・・5～6p

役員改選のお知らせ・・・7p

伝えよう！昔の暮らし

ごたくらぶと小学生との交流会では、じいちゃんたちが昔の道具を披露。たくさんの苦労や想いが詰まった貴重な経験を子どもたちに伝えました。(H25.11.15)

平成25年度おもな事業の報告



親子でスキップ体操
どんぐり広場で親子でふれあ
ながら体操教室。人数は少なく
ても、みんな元気いっぱい！



◇ 地域福祉推進事業 ボランティア・広報・啓発



1. ボランティアの育成・支援

登録ボランティア 14メニュー 104名
ボランティア講座 2回実施 参加者42名
その他、ボランティア新年交流会や、お楽しみ
弁当づくり隊勉強会等を実施。

2. 第24回福祉・健康の集い（社会福祉大会）

『『気配り』で笑顔いっぱい、あったか地域！』
9月8日 参加者270名

3. 福祉教育

小中学生夏休みボランティア体験
体験 5メニュー 参加者84名

その他、デイサービス等で子どもたちとお年寄りの
交流会や、小中学生の福祉体験教室、配食弁当の
メッセージカードづくり等を実施。



森林鉄道に体験試乗
ごたくらぶでは保存会のご協
力を得て森林鉄道に体験試乗。想
い話に花を咲かせました。

	実施回数	利用者	延利用回数(前年度比)
1 どんぐり広場	12回	6組6名	64回 (△14回)
2 ミニ児童館	244日	37名	393回 (△36回)
3 ふれあい元気づくり教室	12回	30名	218回 (+16回)
4 お楽しみ弁当	14回	43名	507回 (+88回)
5 ごたくらぶ	12回	17名	89回 (+11回)
6 会食会	1回	65名	- (△14名)
7 障がい者希望の旅	1回	7名	- (△3名)
8 障がい者交流会	2回	13名	- (+1名)
9 金銭管理・財産保全サービス	76日	1名	88回 (+40回)



やってみよう！身近なボランティア
ボランティア講座では、延べ42名の
皆さんが熱心に学び合いました。
小さな一歩が、大きな力に！

地域支え合い活動の促進

地区サロンと情報交換会

10月29日 上条地区情報交換会 参加者28名
『みんなで考えよう、災害時の支え合い！』
(県出前講座)、炊き出し体験、介護教室 他
7月3日 下条地区サロン 参加者15名
『語ろう！“下条の今昔”』他(住民課共催)



◇ 資金貸付事業

貸付件数/残高 2件(100,000円)
☆新規貸付 - 件 ☆償還終了 1 件

☆地域における支え合い活動の促進

ひとり暮らしの高齢者の増加などにより、地域に
おける支え合い活動は益々重要となっており、平
成25年度は、新たな住民主体の福祉活動の普及
やボランティアの育成等に取り組みました。

ボランティアの養成講座では、「地域でできる
ことを探そう!」をテーマに、参加者の皆さんが
地域の中で自分たちにできることを熱心に語り
合い、共同募金の活用においては、新たに公募に
よる配分を導入し、サロン活動等への助成が決定
されました。

住民参加による取り組みはより一層必要となっ
ており、今後の地域の福祉のあり方に関し、地域全
体でともに考えて行くことが求められています。



◇介護予防・生活支援事業

	実施回数 (日数)	利用者	延利用回数(前年度比)
1 いきいきサロン	12回	10名	86回 (△10回)
2 配食サービス	488回	18名	3,409回 (+111回)
3 生活支援ホームヘルプ	26日	3名	27回 (+11回)
4 介護教室	5回	74名	86回 (+6回)
5 介護者リフレッシュ	4回	19名	39回 (+5回)
6 外出支援サービス	210日	46名	896回 (+98回)
7 軽度生活援助サービス	49日	6名	53回 (+16回)
8 心配ごと相談所	13回	-	15回 (+4回)

☆生活支援サービス充実のための体制整備

平成25年度は、生活支援サービス充実のための体制整備を重点目標の一つに掲げ、食事サービスの提供体制の充実等を図りましたが、配食サービスでは前年度比103%と利用が増加。金銭管理サービスでも前年度の2倍近く利用が増加するなど、介護予防・生活支援等の事業全体で前年度比106%と利用が増加しました。

平成27年度の介護保険制度の改定では、軽度利用者へのサービスの見直しに伴い、特に独居世帯の生活支援サービスへの影響が懸念されるなか、地域独自の生活支援サービスの提供体制の構築が急務になっています。



◇生活支援ハウス運営事業

入居者4世帯5名(365日 24時間営業)

☆新規入居 -世帯(-名) ☆退所 -世帯(-名)



つくり隊のみなさんが勉強会
お楽しみ弁当では、5月に『春
の行楽弁当』、9月に『長寿お
祝いご膳』と銘づつて、新たに
年2回の特別企画を実施。多く
のボランティアさんが活躍！

～平成25年度監査意見よい①～

◇定期的な実施事業の検証

各事業担当で日常的な事業管理を徹底するとともに、より一層ニーズに対応した事業展開を行なえるよう、定期的な実施事業の検証を行うよう努められたい。



作品の出来ばえに大満足！
いきいきサロンでは、王滝の風景を取り入れて、共同制作の年間カレンダーを制作しました。



生け花でリフレッシュ！
介護者の皆さんの日頃のご負担を少しでも軽減させていただこうと、さまざまな企画を計画。

園児といっしょにおやつ作り
デイサービスでは、保育園からかわいいお友だちが訪れ、楽しい交流会が企画されました。



あなたの「生きがい」は何？
王寿会と共催の介護教室。『老いてなお輝いて生きる』をテーマに参加者が語り合いました。





◇介護保険事業

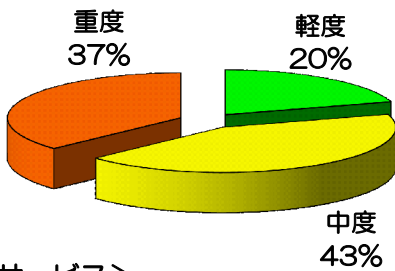


☆介護世帯の負担軽減

介護保険制度の改正の中で増加する利用者の皆さまのご負担を少しでも軽減しようと、デイサービスの食事提供費用の負担を1日500円から300円に暫定的に値下げしました。

経営面でのバランスの確保が課題となっていますが、平成26年度は、引き続き軽減措置を継続させていただきます。

	営業日	利用者	延利用回数
1 居宅介護支援事業	244日	41名 ◎新規 8名	384回
2 通所介護（デイサービス）	256日	30名 ◎新規 6名	2,993回
3 訪問介護（ホームヘルプ）	308日	13名 ◎新規 2名	2,186回
4 障がい者ホームヘルプ	308日	1名 ◎新規 -名	461回
移動支援サービス		1名	53回



<居宅介護支援事業>

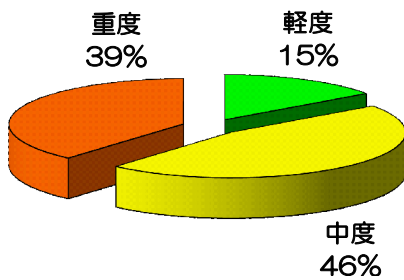
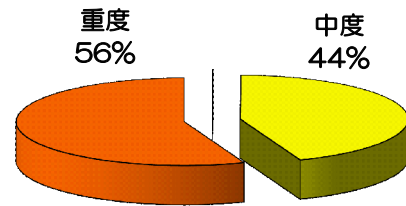
介護状態別ケアプラン作成状況（延件数）

	25年度	24年度	増減
軽度	78件	44件	+34件
中度	164件	151件	+13件
重度	142件	161件	△19件
合計	384件	356件	+28件

<デイサービス>

介護状態別利用状況（延人数） ◎1日平均利用者 11.7人

	25年度	24年度	増減
軽度	2人	0人	+2人
中度	1,321人	921人	+400人
重度	1,670人	2,173人	△503人
合計	2,993人	3,094人	△101人



<ホームヘルプサービス>

介護状態別利用状況（延回数）

	25年度	24年度	増減
軽度	330回	103回	+227回
中度	1,013回	1,607回	△594回
重度	843回	572回	+271回
合計	2,186回	2,282回	△96回

◎延訪問時間 2,279H

身体介護596H/生活援助1,365H/介護予防318H

※1回当たり訪問時間(平均) 60分(前年度比100%)

<障がい者ホームヘルプ> ※移動支援含む

	<25年度>	<24年度>	<増減>
◎延訪問回数	514回	533回	△19回
◎延訪問時間	525H	532H	△7H

～平成25年度監査意見より②～

◇介護保険制度改正への対応

平成27年度の介護保険制度の改正では、軽度の利用者に対するサービスの市町村への移管が予定されています。介護予防や生活支援サービスの地域間の格差が懸念されるなか、地域の実情に応じたサービスが十分に確保されるよう、行政とも協働しその対応を図りたい。

☆予防サービスの増加等により

サービス運営に大きな影響

平成25年度は各事業で利用回数等では増減ともあった一方で、軽度の利用者に対する予防サービスの増加等により、事業収入面では全体に大きく減少。特に訪問介護サービスでは、サービスの提供時間が前年度とほぼ水準だった一方で、事業収入は前年度比△7%と大幅に落ち込みました。

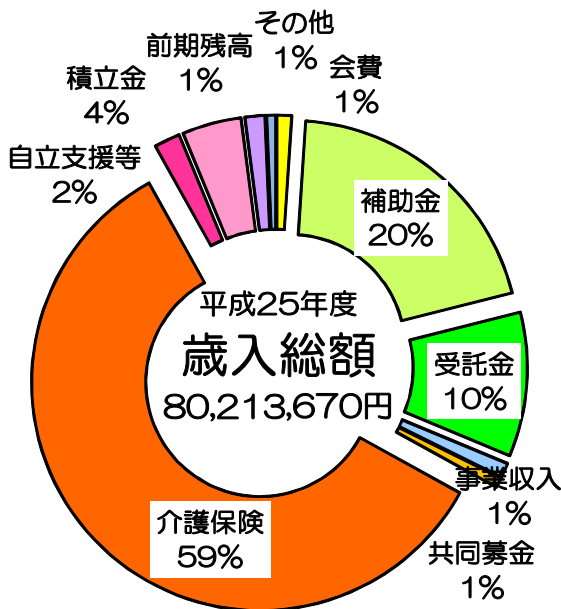
平成27年度の制度改定では、軽度利用者へのサービスが介護保険の給付対象から外される方向性のなかで、今後の持続的なサービス提供体制の確保への影響が懸念されます。

平成25年度一般会計決算

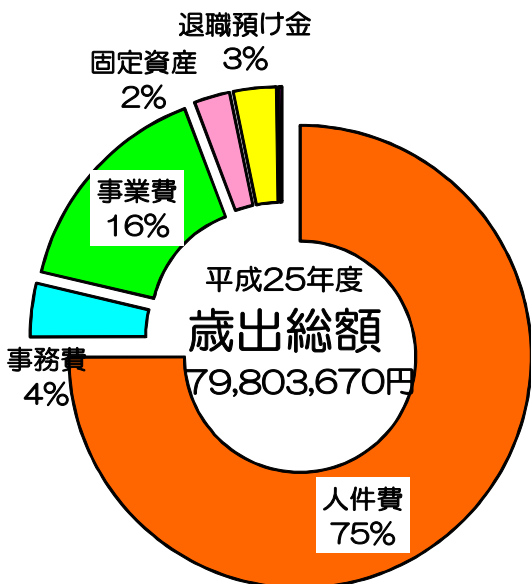
“介護保険収入が大幅に減少”

歳入合計 80,213,670円
 歳出合計 79,803,670円
 差引残高 410,000円

歳入



歳出



～平成25年度監査意見よい③～

◇サービス提供体制の整備

平成25年度の事業活動収支の状況は厳しい状況であったが、必要とされるサービスの提供に支障が出ないよう、今後とも体制整備にはしっかりと留意した運営に努められたい。

(単位：円)

	決算額	前年度決算額	増減
1 会費	837,000	845,000	△8,000
2 寄附金	232,470	124,430	108,040
3 王滝村補助金	16,058,000	15,622,000	436,000
4 受託金	8,205,221	7,280,431	924,790
5 事業収入	829,300	896,550	△67,250
6 貸付事業収入	210,000	200,000	10,000
7 共同募金配分金	574,391	598,863	△24,472
8 介護保険収入	47,239,642	51,053,314	△3,813,672
9 自立支援等収入	1,469,240	1,483,190	△13,950
10 基金・積立金取崩	3,356,959	0	3,356,959
11 前期繰越金	1,126,638	1,407,213	△280,575
12 その他	74,809	823,353	△748,544
合計	80,213,670	80,334,344	△120,674

※ 実質歳入決算額で、経理区分間繰入金等を除く。

※ 「事業収入」は介護保険事業、受託事業以外の利用料等。「自立支援等収入」は、障がい者ホームヘルプサービスに係る収入。

(単位：円)

	決算額	前年度決算額	増減
1 人件費	59,822,203	58,065,384	1,756,819
2 事務費	2,977,603	2,958,877	18,726
3 事業費	12,420,123	11,908,265	511,858
4 固定資産取得支出	2,000,000	0	2,000,000
5 退職共済預け金	2,389,452	2,335,196	54,256
6 基金・積立金積立	0	3,677,484	△3,677,484
7 その他	194,289	62,500	131,789
合計	79,803,670	79,007,706	795,964

※ 実質歳出決算額で、経理区分間繰出金等を除く。

平成25年度は、前年度とほぼ同水準の決算総額となりましたが、歳入面では、介護保険収入が前年度比△7%と大幅に減少。特に、通所介護事業では冬期間の入退院の影響等による利用減少により、前年度比△二七九万円と大幅に収入が減少し、法人全体の運営にも大きく影響しました。介護保険事業全体としてはほぼ収支均衡となりましたが、結果として、財源確保が困難な事業の運営補填のために、積立金からの取崩額が一三六万円となり、平成17年度から八年振りに取崩しを余儀なくされました。

歳出面では、積立金の取崩しによる車輛更新費用、食事サービス提供体制の充実による人件費が大幅に増加いたしました。



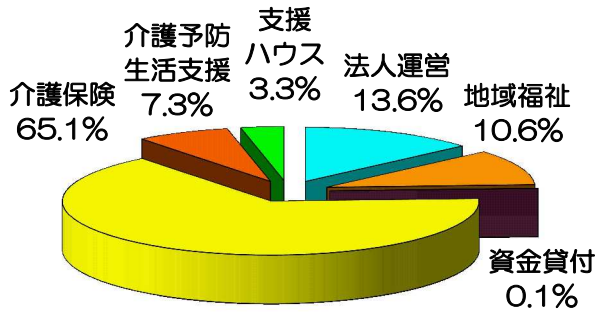
地域福祉推進事業の内訳

①地域福祉推進事業	6,308,118
②ボランティアの育成・支援	412,451 ○
③社会福祉大会 (福祉・健康の集い)	472,379 ○◎
④福祉教育の推進	39,103 ○
⑤調査広報事業	110,283 ◎
⑥どんぐり広場/ミニ児童館	176,325 ○◎
⑦会食会 ほか	137,904 ○◎
⑧ふれあい元気づくり教室	194,344 ○
⑨お楽しみ弁当	435,563 ○
⑩ごたくらび	99,267 ○◎
⑪障がい者希望の旅	58,836 ○
⑫障がい者交流会	25,316 ○
⑬福祉団体の育成・支援等	20,000 ◎

☆ 内、利用者の皆さまの利用料等 計471,900円 (対事業費支出 35%)

※「○」は会員の皆さまの年会費を充当(計10事業)

※「◎」は共同募金配分金事業(計6事業)



介護保険事業の収支

(単位：円)

	居宅介護支援	通所介護	訪問介護	合計
歳出決算額 a	4,195,689	32,555,637	13,194,865	49,946,191
介護保険収入他 b	4,856,010	35,063,808	9,925,502	49,845,320
過不足額 b-a	660,321	2,508,171	△3,269,363	△100,871
(他事業繰出/繰入金)	660,321	2,508,171	△3,168,492	0
(積立金取崩充当額)	0	0	△100,871	△100,871
(次年度繰越金)	0	0	0	0

※「介護保険収入他」は、法人安定化積立金への積立額分を除く。内、利用者の皆さまの利用料 計6,038,166円

※ 居宅介護支援事業は、固定資産積立金取崩しによる固定資産取得支出 (2,000,000円) を除く。

H25 基金・積立金の状況

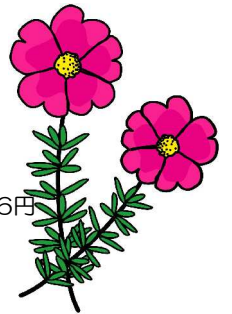
H26.3.31現在 (単位：円)

基金・積立金種別	積立額	取崩額	残高	用途
地域福祉基金 ※地方交付税財源	0	0	69,953,074	◎果実運用 (社会福祉事業へ)
	122,470	0	10,678,857	◎果実等運用 (地域独自の福祉サービスへ)
福祉基金 ※寄附金等財源	0	0	25,000,000	◎基盤整備、介護保険経営補填準備金
	0	0	0	
法人安定化積立金	0	0	2,000,000	訪問・送迎用車両更新費用 (1台)
	0	0	14,490,653	◎消耗資産の更新準備金 (8件)
固定資産積立金	0	0	2,329	積立預金利息
	0	0	1,356,959	運営補填取崩額 (4事業)
暮らし資金積立金	0	0	6,280,704	◎生活資金貸付事業原資

※ 事業財源不足による運営補填のために、平成25年度は、法人運営事業へ1,040,823円、地域福祉推進事業へ215,265円 (2事業)、訪問介護事業へ100,871円を暮らし資金積立金より取崩し充当しました。(取崩予算額 4,184千円)

※ 法人安定化積立金は、基幹的な人件体制整備のための人件費財源の確保、及び介護保険事業が赤字決算の場合の財源補填等を目的に積み立てています。

※ 固定資産積立金は、サービス運営に不可欠な車輛等の固定資産に関し、償却年数の古い資産から優先的に積立てています。



事業別歳出決算額の内訳

(単位：円)

	決算額	前年度決算額	増減
1 法人運営事業	10,850,640	13,226,724	△2,376,084
2 地域福祉推進事業	8,489,889	8,393,112	96,777
3 資金貸付事業	50,329	50,289	40
4 介護保険事業	51,946,191	49,660,650	2,285,541
5 介護予防・生活支援事業 (受託事業)	5,804,069	5,022,551	781,518
6 生活支援ハウス運営事業 (受託事業)	2,662,552	2,654,380	8,172
合計	79,803,670	79,007,706	795,964

※ 法人運営事業は基金組入額 (122,470円) を含む。

介護予防・生活支援事業の内訳

①いきいきサロン	290,979
②配食サービス	2,880,094
③生活支援ホームヘルプ	85,996
④介護教室	67,513
⑤介護者リフレッシュ	91,345
⑥外出支援サービス	2,172,192
⑦軽度生活援助サービス	134,514
⑧心配ごと相談所	81,436

☆ 内、利用者の皆さまの利用料等 計1,716,800円 (対事業費支出 69%)

役員の変更が行われました

任期満了に伴い、5月27日の評議員会において理事及び監事が、理事会において顧問、評議員がそれぞれ選任され、理事の互選により会長、副会長が再任されました。

(役員等の任期は2年間となっており、社会福祉法人の運営等に関しては、法に基づき厚生労働省通知により取り決めがされています。)

◇理事・監事・・・社会福祉法人の役員として、法人運営や事業執行の決定に携わっていただいています。
◇評議員・・・地域の多様な意見をサービスに反映し、ともに参画する地域福祉を実現するために、各種団体や福祉関係者等から選任され、事業計画や予算・決算などの重要な事項について協議いただいています。

理事 (任期 平成26年6月11日～平成28年6月10日)

- 会長 畑中 実祐 ～地域福祉関係(民児協会会長)
- 副会長 堀内 征二 ～地域代表(公民館長等経験)
- 副会長 滝 和人 ～学識経験者(保護司)
- 栗空はつ彗 ～福祉、介護分野
- 下原 敏秋 ～組織運営、経営分野
- 南 直 ～行政関係(村教育長)
- 下出 謙介 ～行政関係(村議会議長)

◎理事は構成分野を考慮の上、個人として選任されています。(役職等は参考)

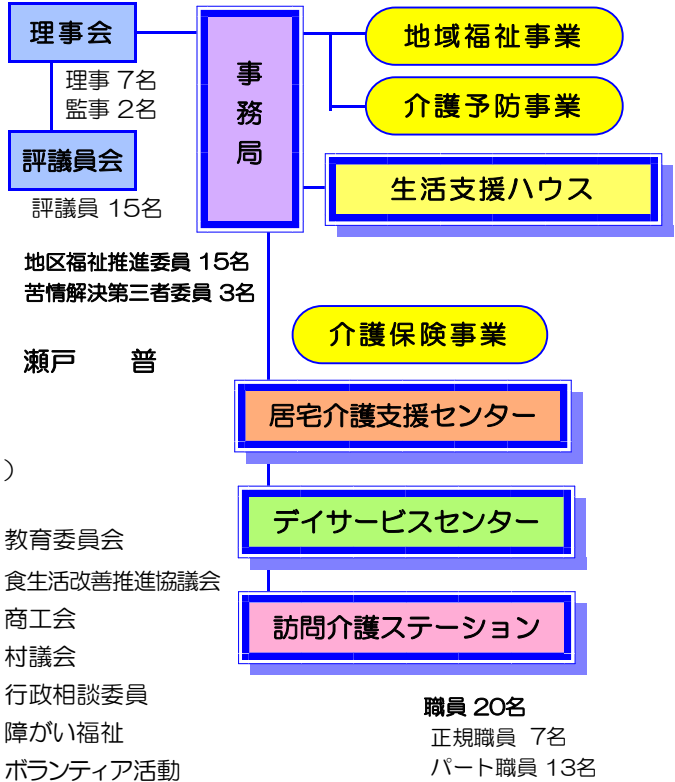
監事 藤沢 滋 (新任) ～学識経験者
林 冬樹 ～会計経験者

顧問 瀬戸 普

評議員 (任期 平成26年6月1日～平成28年5月31日)

- | | | | |
|------------|-----------|------------|------------|
| 脇坂智恵子 | 民生児童委員 | 家高 敏彰 | 教育委員会 |
| 大家 幸雄 | 老人クラブ | 栗空眞智子 (新任) | 食生活改善推進協議会 |
| 細尾美智代 | 更生保護女性会 | 渡辺 時江 | 商工会 |
| 森 壽美恵 | 遺族会 | 田中 秀夫 | 村議会 |
| 上野 長敏 (新任) | 行政(福祉健康課) | 細尾 勝美 | 行政相談委員 |
| 小谷 洋子 | 保護司 | 大家 茂門 | 障がい福祉 |
| 吉田 亮 | 診療所(医師) | 長谷川 昭 | ボランティア活動 |
| 宮澤 賢司 | 小中学校 | | |

◎評議員は選任規程に基づき、各種団体と個人より選任されています。



11月

ごたくらぶ
駒打ちしたなめこ
が豊作! みんなで
秋の味覚を楽しみ
ました。



デイサービス
鳳泉寺のお花祭りに招待され
ました。今年も一年、健康で
ありますように!

1月

どんぐり広場
新年恒例のもちつき交流会。
じいちゃんと一緒に、わたし
もチャレンジ!



季節の行事

5月

8月

いきいきサロン
センターの前で流
しそうめん。ひと
時の涼を楽しみま
した。



平成25年度寄付者ご芳名 (受付順)

たいせつに使わせて頂きます!

寄付総額 232,470円

一般寄付金

団体 (有)環境サービス 様

(第24回福祉・健康の集い
/チャリティーマーケット)

団体 五郎八茶屋 様

更生保護女性会 様

郷土料理 ひだみ 様

里の駅 王滝おんたけ広場 様

個人 脇坂 智恵子 様

チャリティバザー (売上げ 6,070円)

指定寄付金

個人 松下 由喜江 様

介助用車椅子 1台 購入費用

瀧澤 功 様

福祉・健康の集いコンサート謝礼

物品寄贈

どんぐり村工房 様

敬老プレゼント 32組



座面の角度調整なども出来る高機能の車椅子。小型で部屋の中へもスムーズに移動できます。

介護サービスの利用者等へ、藍染の巾着袋や無病息災の願いを込めた白いミニだるまなどをいただきました。

※ この他にも、手づくりの野菜やお菓子、綿布などの介護用品や子ども用品、ひのきの箸や弁当袋など、たくさんの心のこもった頂きものがありました。(計72件)



見つめ直そう!

コミュニケーション

もった他人どう
しが、「気持ち」
と「気持ち」

異なる価値観を
例えられますが、
キャッチボールに
例えられますが、
例えられますが、
例えられますが、

また、「コミュニ
ケーションは
コミュニケーションは
コミュニケーションは

視念に立つこと
で、多様な価値観
を受容するメリッ
トなどがあると
わけています。

対話は、自己と異なる
価値観をもった他人と
接することにより、「自
己」を再認識し、より良
くするきっかけと
したり、客観的な
視点に立つこと
で、多様な価値観
を受容するメリッ
トなどがあると
わけています。

現代の情報社会では、
お気に入りの情報がす
ぐに入手でき、情報の取
捨選択が自由になる一
方で、顔と顔を合わせ
た直接対話が少なくな
り、苦手とする方も多
くなっていく傾向が
あります。

○「コミュニケーション」
の魅力

「受け」、「答へ」の
やり取りを通して、互
を知り、理解を深め、
本当の意味で互いに「価
値」ある存在として認め
合うことができるとい
う魅力があります。

私たちは無意識のう
ちに、聞きたいことを聞
き、聞きたいことを聞
かないよう取捨選択
してしまいがちですが、
「コミュニケーション」に
より相互理解を深める
ためには、相手の「立
場」や「状況」を察し、
「相手」がどのように聞
いて欲しいのか、その
「真意」や「心情」を正
確に読み取れるよう、
しっかりと「聴く」こと

「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は

「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は

「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は

「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は

「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は

「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は

「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は

「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は

「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は

「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は

「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は

「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は
「コミュニケーション」は